

蕃地事務局長

依頼旁申進候也

蕃地事務局長官大隈重信

海軍少将伊東祐磨殿

追而別封一通厦門領事工御届有之度此段

申添候也

番外

七年七月廿九日

即日施行

長官 (大隈)

御用掛

轍輔

河籍

安藤領事へ御答案

本月十四日貴翰本日相達忙手披見未示ノ

條件逐一系知就中支那軍艦二艘本月十四

日台湾へ出帆ノ趣就テハ事情探索英人へ

四

蕃地事務局長

クト子ル使用有之候旨彼是御注意ノ儀ト
存候猶此上精々探偵事ノ急ニ属スルモノ
ハ電信ヲ以報告有之度此段回答書及依頼
候也

大隈蕃地事務局長官

安藤香港領事殿

追而龍驤東ノ西艦一兩日中出帆ノ筈ニ
候李仙得ヘモ此旨御通知有之度此段
申添候也

以書状致啓上候陣ハ台湾一件ニ付此節支那政
府於テハ專ラ我兵ヲ追退ントノ用意有之説ハ
新聞巷談ニ紛々有之候処既ニ数日前ヨリ支那
軍艦二隻一ハ永保号ニ掃一相突
一ハスイツン号ニボルト形碇泊罷在候処
一昨十二日當政府砲臺備付野戦砲不用ノ内ヨ
リ許多贖入レ且又小銃彈藥共凡一萬人分程モ
右スイツン船ヘ積入今十四日台湾ヘ向ケ出帆
ノ趣彼是事情驟然ニ候処何分当地ニテハ新聞
上ノ外ハ明瞭承知難致候ニ付當館雇英人ニク

ト子ル氏ヲ以テ清國現今ノ景況逐一探索ノ為
明十五日廣東表へ差遣候積同港ニハ数日前
ヨリ春日艦モ入泊ノ由新紙ニ相見へ且同人知
己ノ英人モ許多在留有之候故事情巨細トナク
筆記可差送様申合メ候間何レ右相分リ次第
可申進候上海厦門等へモ丈々事情報知可致
候敬具

七年七月十四日

在香港領事館

副領事安藤太郎

蕃地事務局

御中

蕃地事務局

卷之十一

第十五報 第四号

即日施行濟(三)

七年七月三十日

長官(六)

御用裁

裁

河

都督へ御照會案

香港副領事安藤太郎ヨリ本月十四日附書
面到來候間寫一通為御心得及御回付候也

大隈蕃地事務局長官

蕃地事務局

西郷事務都督殿

福島呂川へ御通達案

安藤香港副事ヨリ本月十四日附ヲ以別紙
ノ通り申越候間為心得及回付候也

大隈蕃地事務局長官

事務参謀

福島厦門領事殿

呂川上海領事殿

別号百六十五

即日施行 (柳下)

七年七月廿九日

御用掛

岩橋花押

(何籍)

支局へ御答案

元一第百二十拾七號林大佐石塚中層上京之候
承知本日着京相成候

元一第百二十拾九号猶龍丸御用解御申渡之旨
致承知候